

「静岡市アリーナ基本計画(案)」の公表と市民意見募集の実施

1 要旨

静岡市は、これまでの市内の施設では実現できなかった、最高峰のプロスポーツの試合や大規模なコンサートが開催可能な多目的アリーナを、JR 東静岡駅北口市有地に整備することをめざしています。

人口減少・少子化が市の大きな課題の中、アリーナは、まちの魅力向上、文化振興、地域経済の活性化など、大きな経済社会効果を生むとともに、市民に新たなスポーツ・エンターテインメントコンテンツを提供し、ワクワク・ドキドキといった感動体験をもたらします。

これまでの検討結果をふまえ、市がめざすアリーナとはどのような施設なのか、どのように事業を進めるのか、などを「静岡市アリーナ基本計画(案)」(以下「基本計画(案)」)としてまとめました。

この「基本計画(案)」について、市民の皆様からご意見を募集します。
ぜひ、皆様のご意見をお寄せください。



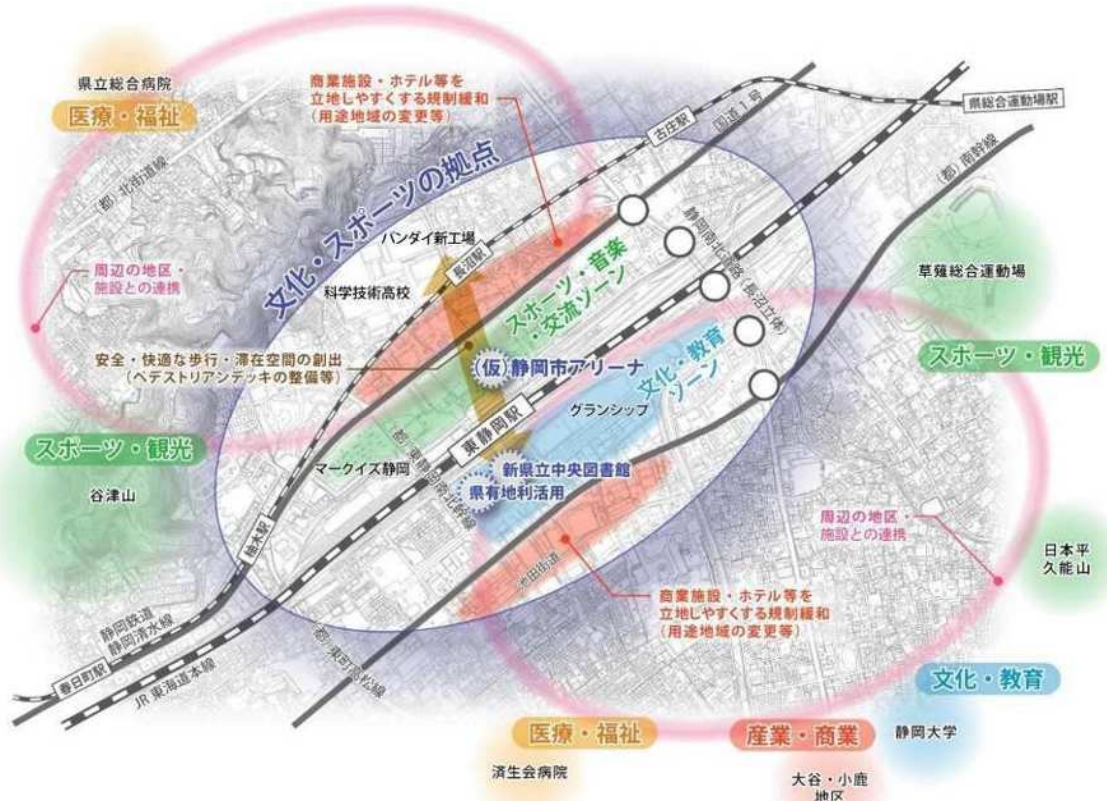
2 基本計画(案)の主な内容 …別紙1～2および基本計画(案)参照

静岡市アリーナ基本計画(案)…<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s5423/s013086.html>

(1) 東静岡のまちづくりとアリーナ …基本計画(案)P25～29

JR 東静岡駅周辺では、アリーナのほかに新県立中央図書館の整備が予定されています。既存のグランシップとこれらの新たな施設が連携して、東静岡はスポーツ・文化・教育の拠点となるとともに、新たなまちづくりの絶好の機会を迎えています。

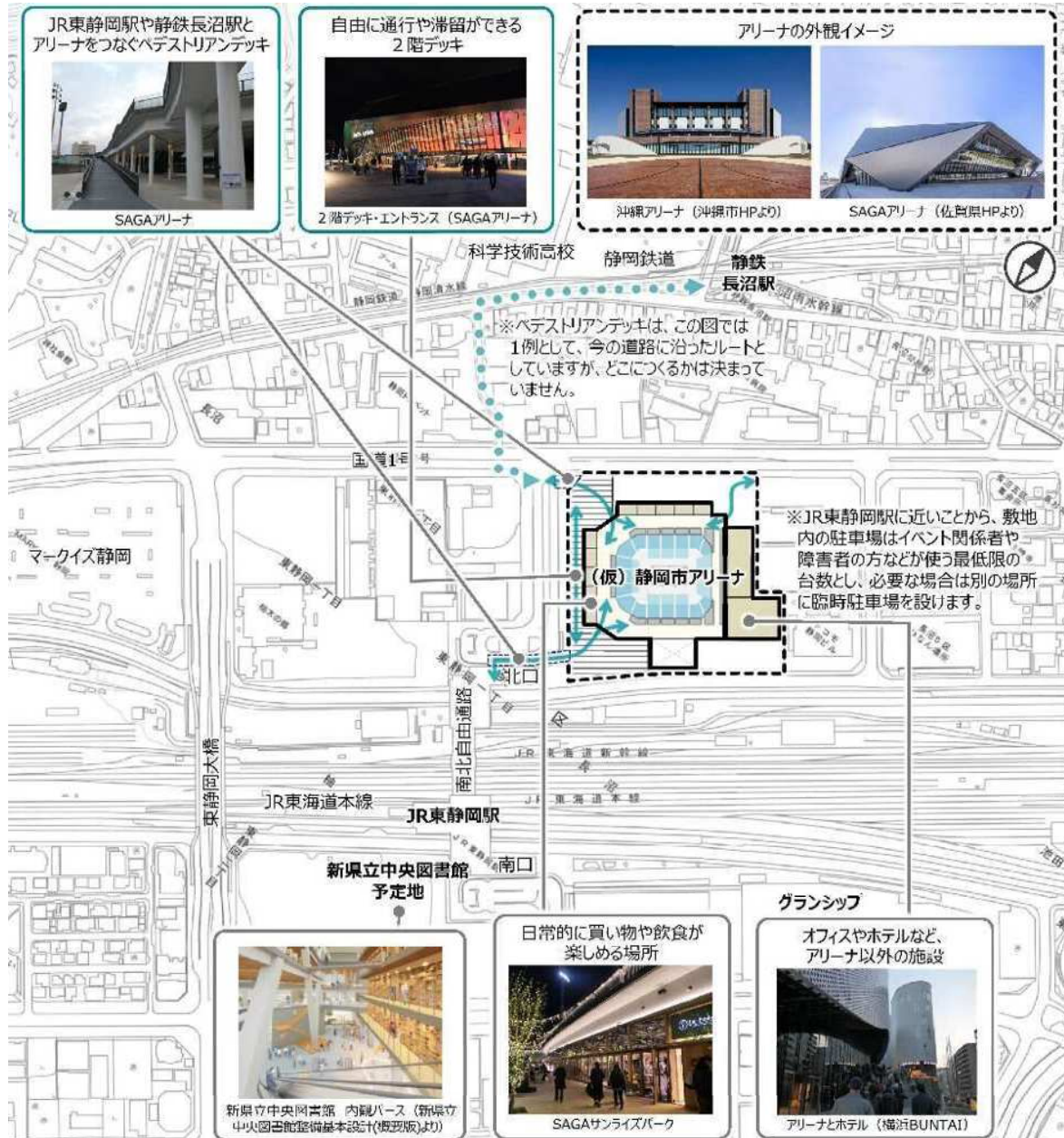
アリーナを施設単体で整備するのではなく、アリーナを核とした東静岡のまちづくりを一体的に進めることで、相乗効果により、東静岡は最先端の文化・スポーツ・エンターテインメントの体験や、商業、交通、文化・教育等の充実した都市機能と快適な住環境を兼ね備えたまちに発展します。



(2) アリーナの概要 …基本計画(案)P30～47

これまでの市内の施設（中央体育館・市民文化会館など）では、席数や設備の関係から、最高峰のプロスポーツの試合や大きな音楽イベントは開催できませんでした。これらの大型イベントが開催できるよう、アリーナの席数は、プロスポーツの試合や、大きな音楽イベント（ツアーなど）に対応可能な8,000席以上とします。

また、アリーナとJR東静岡駅、静鉄長沼駅をペDESTリアンデッキ（高架の歩行者空間）でつなぐことで、歩行者と車の動きを分けて、市民や来場者が安全に移動できるルートを設定します。



(3) アリーナの防災機能 …基本計画(案)P38～39

アリーナには、大型トラックがそのまま屋内（メインアリーナ）に入れる搬入口やコンクリート製の床、VIP ルームなどの個室、セントラルキッチンを設けます。地震や風水害などの災害のときは、これらの設備が緊急物資集積所や避難所として活用できます。

例えば、乳幼児同伴の方や要配慮者が個室を利用できるようにするほか、市民や避難者への電気（充電）や水の供給、セントラルキッチンなどを活用した飲食の提供ができるようにします。

(4) アリーナの事業費・事業手法 …基本計画(案)P48～52

アリーナの施設整備費は、現時点（2024年10月）で約300億円と考えています。

アリーナの整備・運営は、PFIの一種である、「BT+コンセッション方式」により実施します。この方式では、アリーナは公共施設として、市と民間事業者が費用を分担して建設し、完成後は市が所有し、民間事業者が運営します（公設民営）。市は、運営する権利（運営権）を民間事業者の有償（運営権対価）で譲渡し、この運営権対価を建設費用にあてることで、建設費用の市の負担を減らします。

アリーナの運営権を得た事業者は、自由な発想でアリーナを運営し、魅力あるサービスを提供し、多くの人々が楽しめる場所とするとともに、収益を生み出します。

この方式をとることにより、市の建設費用の負担が減るとともに、市はアリーナの運営費を負担する必要はなくなります。

(5) 事業スケジュール …基本計画(案)P52

アリーナの投資効果を高めるためには、アリーナの建設を決定した場合、できるだけ早くアリーナをオープンすることが重要です。もっとも早く進んだ場合として、以下のスケジュールを想定しています。

- 2024年度：基本計画の決定
- 2025～2026年度：事業者の募集・決定
- 2026～2029年度：設計・建設工事
- 2030年春：アリーナのオープン

3 基本計画(案)のパブリックコメント …別紙3参照

基本計画(案)は、皆様から広くご意見を募集するパブリックコメントを行ったうえで、いただいたご意見を参考として修正し、「静岡市アリーナ基本計画」を策定します。ぜひ、皆様のご意見をお寄せください。（意見募集期間：10/25(金)～11/29(金)）

4 市民説明会の開催 …別紙4参照

基本計画(案)の市民説明会を以下の通り開催します。市民説明会では、北海道ボールパークFビレッジを手がけた(株)ファイターズ スポーツ&エンターテインメント 事業統括本部長 前沢氏による基調講演を予定しています。皆様ぜひご参加ください。

- 日時：11/15(金)18:30～20:30（予定）
- 会場：しずぎんホール ユーフォニア（静岡市葵区追手町1-13 アゴラ静岡8階）

5 参考資料

- 別紙1：「静岡市アリーナ基本計画(案)」について
- 別紙2：静岡市がめざすアリーナ（静岡市アリーナ基本計画(案)より）
- 別紙3：静岡市アリーナ基本計画(案)パブリックコメント 案内チラシ
- 別紙4：市民説明会「エスコンフィールドの成功事例に学ぶ」 案内チラシ

担当：スポーツ振興課（054-221-1183）

静岡市では、これまでの市内の施設では実現できなかった、**最高峰のプロスポーツの試合や大規模なコンサートが開催可能な多目的アリーナ**を、JR東静岡駅北口市有地に整備することをめざしています。

これまでの検討結果をふまえ、市がめざすアリーナとはどのような施設なのか、どのように事業を進めるのか、などを「**静岡市アリーナ基本計画(案)**」としてまとめました。

静岡市がめざすアリーナ

地域のためのアリーナ

- ・東静岡の文化・スポーツの拠点になるとともに、地域のまちづくりや防災にも役立ってます。

集うアリーナ

- ・市民、市外や県外から人が集まり、新たな交流や経済効果を生みます。

選ばれるアリーナ

- ・いろいろな演出ができて、イベント会場として使いやすい、主催者や観客から選ばれるアリーナとします。

観るアリーナ

- ・バスケットボールやバレーボールなど、最高峰のプロスポーツの試合や、大きなエンタメイベントを実現します。

持続可能なアリーナ

- ・民間のアイデアを活かした運営やサービスにより、将来にわたり魅力があり、収益を生みだすアリーナとします。



アリーナのイメージ（SAGAアリーナ）



©VELTEX SHIZUOKA

バスケットボール



©toray arrows shizuoka

バレーボール



コンサート

東静岡のまちづくりとアリーナ

JR東静岡駅北口の**アリーナ**、南口の**新県立中央図書館**や、既存のグランシップ等の**施設（ハード）**と、まちで提供・実施される**サービス・活動（ソフト）**が連携することで、まちに**新しい価値**がもたらされます。

JR東静岡駅周辺に商業施設・ホテル等を含めた人**が集まる魅力的な都市空間**を形成するとともに、ペDESTリアンデッキの整備や次世代モビリティの導入等により、**誰もが移動しやすい・住みやすいまちづくり**を進めていきます。

アリーナの概要

これまでの市内の施設（中央体育館・市民文化会館など）では、席数や設備の関係から、最高峰のプロスポーツの試合や大きな音楽イベントは開催できませんでした。

これらの大型イベントが開催できるよう、アリーナの席数は、**プロスポーツの試合や、大きな音楽イベント（ツアーなど）**に対応可能な**8,000席以上**とします。

また、**アリーナとJR東静岡駅、静鉄長沼駅をペDESTリアンデッキ（高架の歩行者空間）**でつなぐことで、歩行者と車の動きを分けて、市民や来場者が安全に移動できるルートを設定します。



アリーナの防災機能

アリーナには、大型トラックがそのまま屋内（メインアリーナ）に入れる搬入口やコンクリート製の床、VIPルームなどの個室、セントラルキッチンを設けます。地震や風水害などの災害のときは、これらの設備が**緊急物資集積所**や**避難所**として活用できます。

例えば、乳幼児同伴の方や要配慮者が個室を利用できるようにするほか、市民や避難者への電気（充電）や水の供給、セントラルキッチンなどを活用した飲食の提供ができるようにします。

防災機能のイメージ



大型トラックが通れる搬入口（SAGAアリーナ）



VIPルーム（観戦だけでなく飲食も楽しめる個室）
（SAGAアリーナ）



セントラルキッチン（沖縄アリーナ）

アリーナの事業費・事業手法・事業スケジュール

アリーナをつくる費用は、現時点（2024年10月）で**約300億円**と考えています。

アリーナの整備・運営は、PFIの一種である、「BT+コンセッション方式」により実施します。この方式では、アリーナは公共施設として、市と民間事業者が費用を分担して建設し、完成後は市が所有し、民間事業者が運営します（公設民営）。市は、運営する権利（運営権）を民間事業者の有償（運営権対価）で譲渡し、この運営権対価を建設費用にあてることで、建設費用の市の負担を減らします。アリーナの運営権を得た事業者は、自由な発想でアリーナを運営し、魅力あるサービスを提供し、多くの人を楽しめる場所とするとともに、収益を生み出します。

この方式をとることにより、市の建設費用の負担が減るとともに、市は管理運営費を負担する必要はなくなります。

アリーナにかかる費用のイメージ

【アリーナをつくる（設計・建設）】

約300億円（現時点での見込み）

市が用意（市の負担のほか、国の補助金・交付金、寄付金など）

→ **できるだけ少なく** ←

いろいろな財源を使い、なるべく市の負担を少なくする。

運営権対価を充当

収益の一部
(運営権対価)

【アリーナを運営する】

アリーナ運営の収入（施設利用料、飲食・物販収入、広告収入など）

← **できるだけ多く** →

収益

アリーナ運営の支出
（維持管理・運営費）

民間事業

これからのスケジュール（予定）

- ・もっとも早く進んだ場合として、右のスケジュールをめざしています。
- ・アリーナの投資効果を高めるためには、アリーナの建設を決定した場合、できるだけ早くアリーナをオープンすることが重要です。

【2024年度】 : 基本計画の決定
【2025～2026年度】 : 事業者の募集・決定
【2026～2029年度】 : 設計・建設工事
【2030年春】 : アリーナのオープン

アリーナができると・・・

静岡市は、深刻な人口減少や少子化といった課題を解決するため、**将来を担う子どもや若者が、「このまちの未来は明るい」と夢を抱き、希望が持てるまちづくり**を進めています。アリーナにより、以下のような**新たなまちづくり、文化の発信、安心・安全、雇用所得の創出**の経済社会効果が期待できます。

新たなまちづくり

・東静岡の新たなまちづくりの中心として、まちの魅力を高めるだけでなく、市民が誇れる静岡市のシンボルとなります。

新たなまちづくりにより、民間の投資が生まれるほか、東静岡が住みやすく、文化もスポーツも楽しめるエリアとなることで、定住・交流人口の増加が期待できます。



北海道ボールパークFレッジ（北広島市HPより）

文化の発信

・トップレベルのプロスポーツやエンターテインメントを静岡市にもたらし、これまでにないワクワク・ドキドキの感動を市民に提供する拠点となります。

市内外に最先端の文化を発信し、交流する拠点として、様々なヒト・サービス・情報が結びつきます。



沖縄アリーナ

安心・安全

・大きな災害のときは、広い屋内スペースを活かした支援物資の受入れ、仕分けのほか、避難所として避難者の受入れを担う防災拠点となります。

非常用電源や水などのライフラインを備えることで、地域に安心・安全をもたらします。

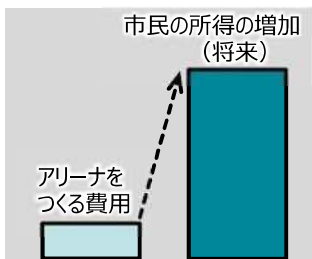


石川県産業展示館（内閣府HPより）

雇用所得の創出

・アリーナをつくる費用を約300億円とした場合、最初の事業者が建設・運営する33年間で、市民の所得（雇用所得）が増える効果は約1,455億円と見込まれます。

・アリーナをつくる費用と比べて、より大きな効果が期待されます。



防災施設としてのアリーナ

アリーナには、大型トラックがそのまま屋内（メインアリーナ）に入れる搬入口やコンクリート製の床、VIPルームなどの個室、セントラルキッチンを設けます。地震や風水害などの災害のときは、これらの設備が**緊急物資集積所や避難所**となります。

例えば、乳幼児同伴の方や要配慮者が個室を利用できるようにします。そのほか、市民や避難者への電気（スマホ等の充電）や水の供給、セントラルキッチンなどを活用した飲食の提供ができるようにします。



大型トラックが通れる搬入口
（SAGAアリーナ）



VIPルーム・プレミアムラウンジ（観戦だけでなく飲食も楽しめる個室）
（SAGAアリーナ）



セントラルキッチン
（沖縄アリーナ）



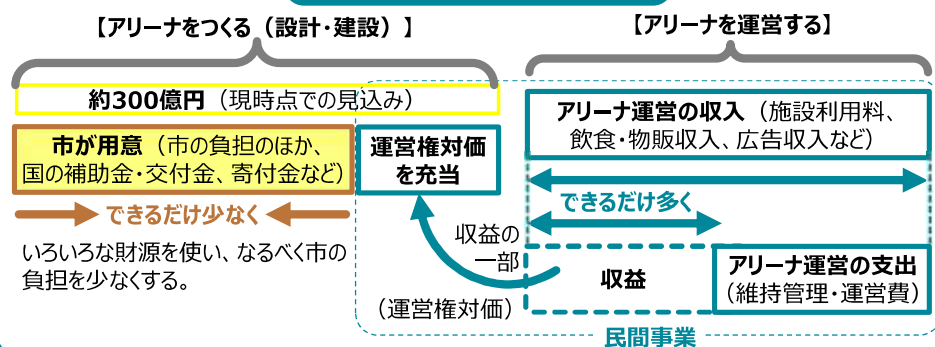
アリーナ事業の進めかた

アリーナをつくる費用は、現時点（2024年10月）で**約300億円**と考えています。

アリーナは公共施設として、市と民間事業者が費用を分担して建設し、完成後は市が所有し、事業者が運営します（公設民営）。市は、運営する権利（運営権）を事業者に有償（運営権対価）で譲渡し、この運営権対価を建設費用にあてることで、建設費用の市の負担を減らします。アリーナの運営権を得た事業者は、自由な発想でアリーナを運営し、魅力あるサービスを提供し、多くの人が楽しめる場所とともに、収益を生み出します。

この方式をとることにより、市の建設費用の負担が減るとともに、市はアリーナの運営費を負担する必要はなくなります。

アリーナにかかる費用のイメージ



これからのスケジュール（予定）

・アリーナの投資効果を高めるためには、アリーナの建設を決定した場合、できるだけ早くアリーナをオープンすることが重要です。

・もっとも早く進んだ場合として、次のスケジュールをめざしています。

【2024年度】：基本計画の決定
【2025～2026年度】：事業者の募集・決定
【2026～2029年度】：設計・建設工事
【2030年春】：アリーナのオープン

別紙2 静岡市がめざすアリーナ（静岡市アリーナ基本計画（案）より）

2024年10月
静岡市

静岡市は、JR東静岡駅北口の市有地に多目的アリーナをつくることをめざしています。静岡市がめざすアリーナとは、どのような施設なのか、どのように事業を進めるのか、「静岡市アリーナ基本計画（案）」としてまとめました。



アリーナでのイベント（SAGAアリーナ）

めざすアリーナ

最高峰のプロスポーツの試合や大きなコンサートなど、これまでの市内の施設（中央体育館・市民文化会館など）では開催できなかった、さまざまな大型イベントを開催できる多目的アリーナの実現をめざします。

地域のためのアリーナ

・東静岡の文化・スポーツの拠点になるとともに、地域のまちづくりや防災にも役立けます。

集うアリーナ

・市民、市外や県外から人が集まり、新たな交流や経済効果を生みます。

選ばれるアリーナ

・いろいろな演出ができて、イベント会場として使いやすい、主催者や観客から選ばれるアリーナとします。

観るアリーナ

・バスケットボールやバレーボールなど、最高峰のプロスポーツの試合や、大きなエンタメイベントを実現します。

持続可能なアリーナ

・民間のアイデアを活かした運営やサービスにより、将来にわたり魅力があり、収益を生みだすアリーナとします。



アリーナのイメージ（沖縄アリーナ）



バスケットボール



バレーボール



コンサート



光と音の華やかな演出

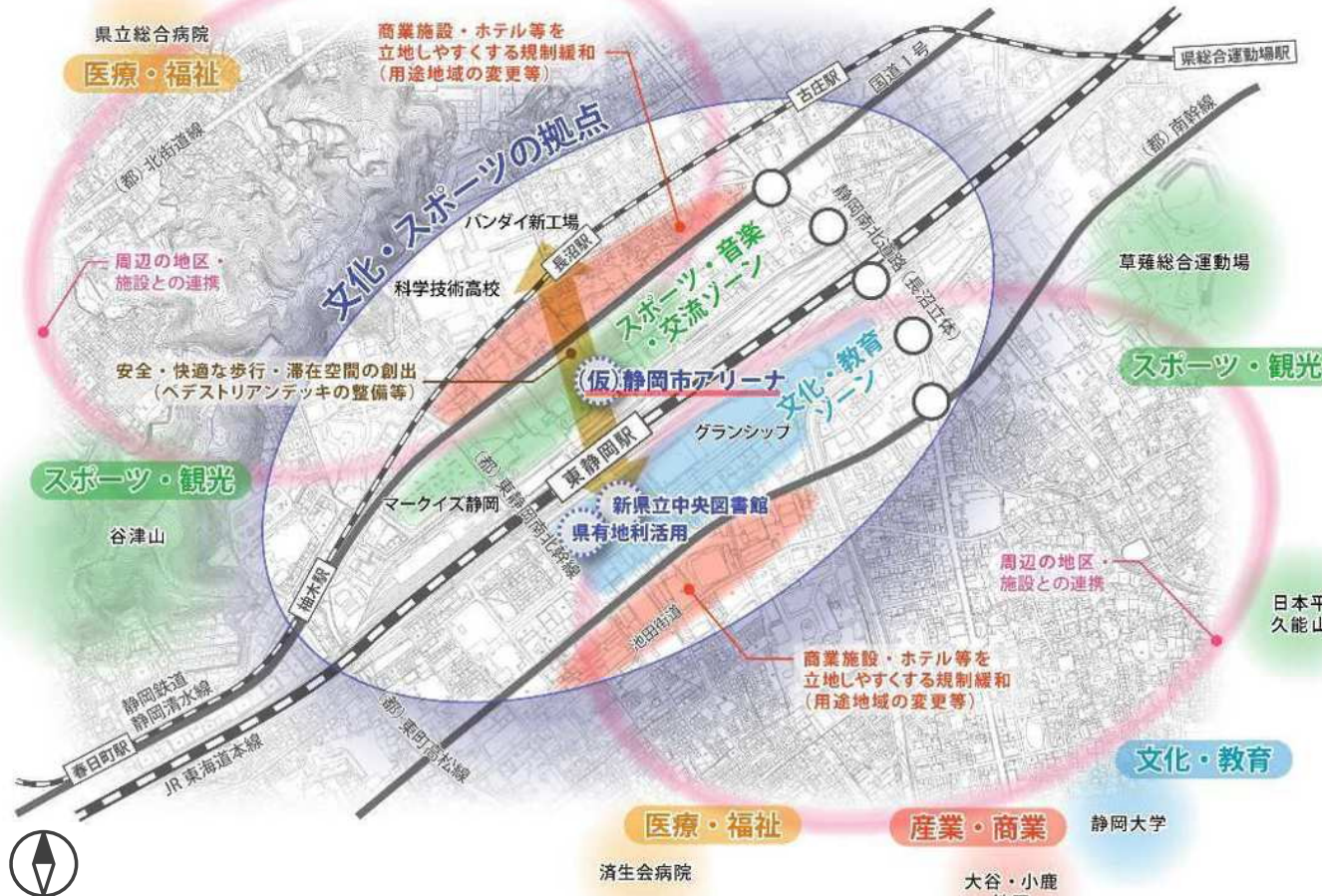
東静岡のまちづくりとアリーナ

人口減少や地球温暖化といった**時代の大きな変化を認識し**、SDGs未来都市として、これからの20年、30年、その先の50年までを視野に入れながら、**未来につながる持続可能なまちづくり**を進めていきます。

「新たな文化・スポーツの拠点づくり」と「快適で住みやすい住環境づくり」

まちづくりの将来イメージ

- ・JR東静岡駅北口の**アリーナ**、南口の**新県立中央図書館**（2027年度完成予定）や、既存のグランシップ等の**施設（ハード）**と、まちで提供・実施される**サービス・活動（ソフト）**が連携することで、まちに**新しい価値**（最先端の文化・スポーツ・エンタメの体験・体感など）がもたらされます。
- ・この新しい価値を上手に活用し、JR東静岡駅周辺に商業施設・ホテル等を含めた**人が集まる魅力的な都市空間**を形成するとともに、ペDESTリアンデッキの整備や次世代モビリティの導入等により、**誰もが移動しやすい・住みやすいまちづくり**を目指していきます。
- ・このようなまちを実現していくために、**面的に広がりがある範囲でのまちづくりを、市民、地域社会、企業等と共に進めていきます。**



長崎スタジアムシティ（提供：長崎スタジアムシティ）

他都市では、**アリーナやスタジアムと、観る/食べる/遊ぶ/体験する/ショッピング/泊まる**などが集合したまちづくりが進められています。東静岡では、駅直結のアリーナを核とした**魅力的なまちづくり**を進めます。



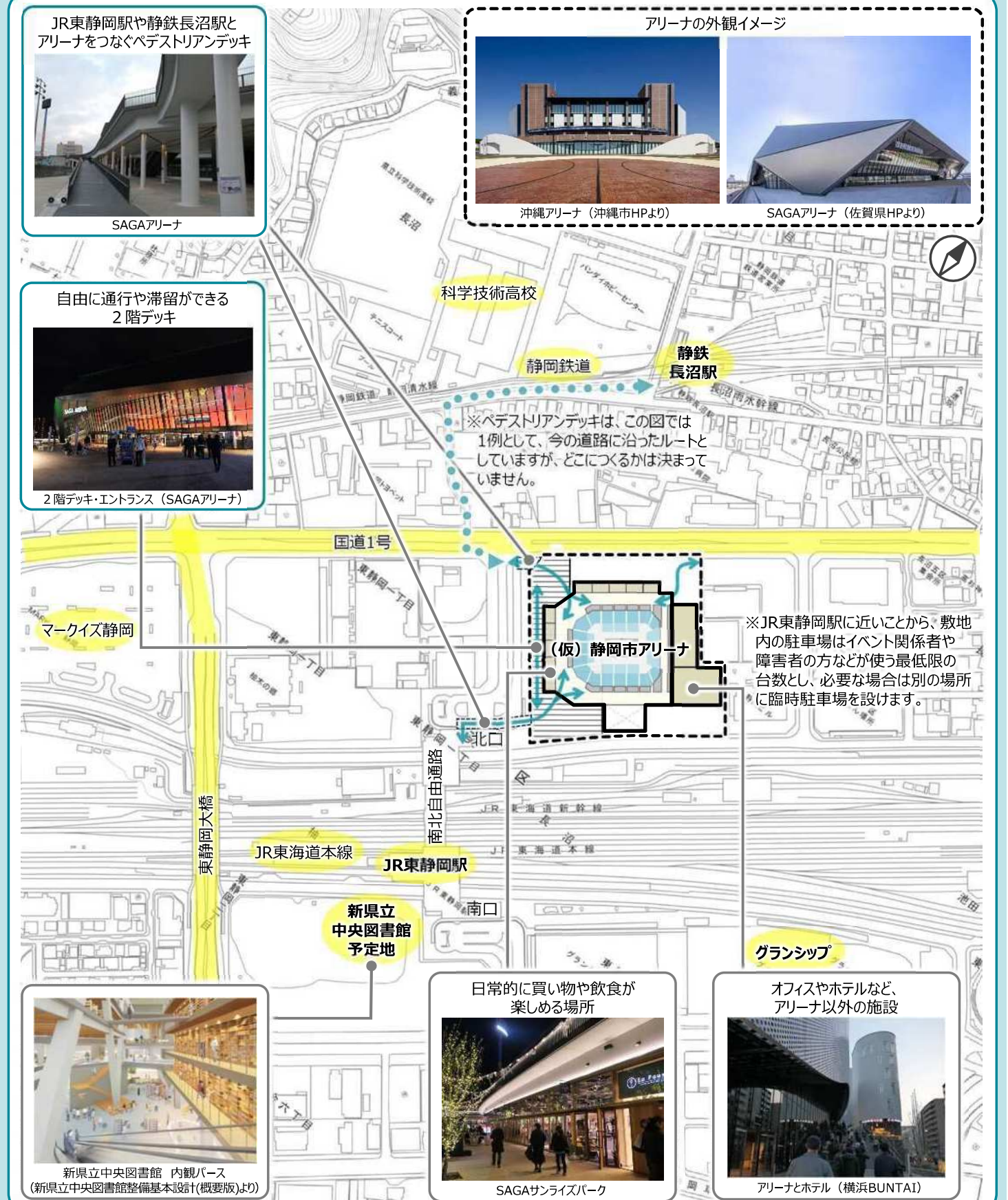
エディオンピースウィング広島

JR東静岡駅や静鉄長沼駅とアリーナをつなぐ**ペDESTリアンデッキ**等を整備することで、まちを訪れる人々・暮らす人々が**安全・快適に歩行・滞在**することができます。

アリーナのイメージ

これまでの市内の施設（中央体育館・市民文化会館など）では、席数や設備の関係から、最高峰のプロスポーツの試合や大きな音楽イベントは開催できませんでした。これらの大型イベントが開催できるよう、アリーナの席数は、**プロスポーツの試合や、大きな音楽イベント（ツアーなど）に対応可能な8,000席以上**とします。

また、**アリーナとJR東静岡駅、静鉄長沼駅をペDESTリアンデッキ（高架の歩行者空間）**でつなぐことで、歩行者と車の動きを分けて、市民や来場者が安全に移動できるルートを設定します。



アリーナの外観イメージ



沖縄アリーナ（沖縄市HPより）



SAGAアリーナ（佐賀県HPより）

JR東静岡駅や静鉄長沼駅とアリーナをつなぐペDESTリアンデッキ

SAGAアリーナ

自由に通行や滞留ができる
2階デッキ



2階デッキ・エントランス（SAGAアリーナ）

※ペDESTリアンデッキは、この図では1例として、今の道路に沿ったルートとしていますが、どこにつくるかは決まっていません。

※JR東静岡駅に近いことから、敷地内の駐車場はイベント関係者や障害者の方などが使う最低限の台数とし、必要な場合は別の場所に臨時駐車場を設けます。

グランシップ

オフィスやホテルなど、アリーナ以外の施設



アリーナとホテル（横浜BUNTAI）

日常的に買い物や飲食が楽しめる場所



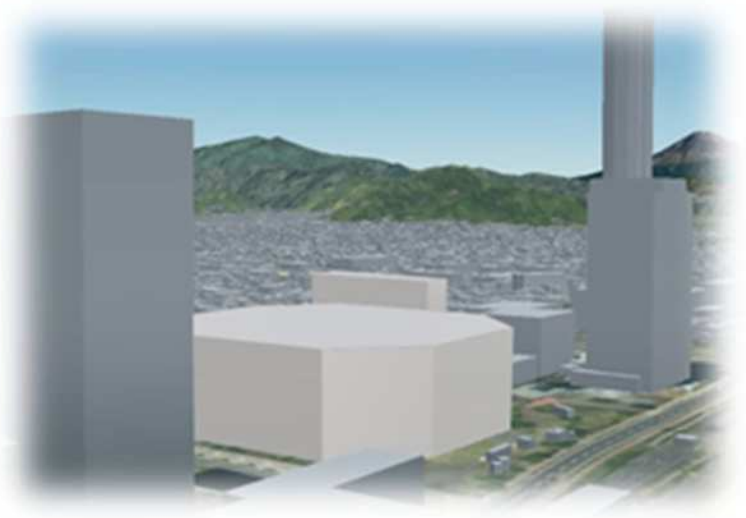
SAGAサンライズパーク



新県立中央図書館 内観パース（新県立中央図書館整備基本設計(概要版)より）

静岡市アリーナ基本計画(案)について

みなさまの ご意見を 募集します



意見募集期間: 令和6年10月25日(金)～11月29日(金)

意見募集の主旨

静岡市は、これまでの市内の施設では実現できなかった、最高峰のプロスポーツや大規模コンサートが開催できる多目的アリーナのJR東静岡駅北口市有地への整備をめざすとともに、アリーナを中心とした東静岡の新たなまちづくりを進めていきます。

このたび、静岡市がめざすアリーナの概要、役割や機能、事業の進め方などを「静岡市アリーナ基本計画(案)」としてまとめましたので、みなさまのご意見をお聞かせください。

意見募集の対象

◎静岡市アリーナ基本計画(案)

下記URLまたは2次元コードからご覧ください。
<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s5423/s013086.html>



対象者

静岡市内に在住または通勤・通学する方や、市内の法人、団体など、どなたでも提出できます。

提出方法

- (1) 郵送
420-8602
静岡市葵区追手町5-1
静岡市役所 スポーツ振興課 あて
- (2) 持参
静岡市役所 静岡庁舎 新館17階
スポーツ振興課
※住所は(1)と同じ
- (3) FAX
054-221-1453
- (4) 電子申請
右の2次元コードから



ご意見を提出される際の注意事項

- 1 住所と氏名は必ず記入してください。
(「静岡市市民参画の推進に関する条例施行規則」第5条第4項において、個人の場合は住所・氏名、法人その他の団体の場合は名称・所在地・代表者の氏名を明らかにすることとされています。)
- 2 個人情報については、厳正に管理を行い、「静岡市市民参画の推進に関する条例」に基づく市民参画手続き以外の目的では使用しません。
- 3 いただいたご意見は静岡市アリーナ基本計画の策定にあたり、参考とします。
また、個人が特定できないように編集したうえで、ご意見の要旨を市ホームページ等で公開する場合があります。
- 4 意見に対する個別の回答はしません。

お問合せ先 静岡市役所スポーツ振興課 野崎、齋藤
(連絡先)054-221-1183

裏面が「意見応募用紙」
となっています。

静岡市アリーナ基本計画（案）に関する意見応募用紙

ページ数	ご意見
ページ	
ページ	
ページ	
ページ	
ページ	
ページ	
ページ	

※記入欄におさまらない場合は、「別紙のとおり」とご記入のうえ、別紙(様式自由)を添えてご提出ください。

住所 (法人の場合は所在地)	(必須)
氏名 (法人の場合は名称及び代表者名)	(必須)
年齢	☐ 19歳以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70歳以上
性別	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答しない

「静岡市アリーナ基本計画(案)」市民説明会のご案内 「エスコンフィールドの成功事例に学ぶ」

静岡市は、これまでの市内の施設では実現できなかった、最高峰のプロスポーツや大規模コンサートが開催できる多目的アリーナのJR東静岡駅北口市有地への整備をめざすとともに、アリーナを中心とした東静岡の新たなまちづくりを進めていきます。

みなさん、「エスコンフィールド」って聞いたことがありますか？

2023年3月に北海道北広島市に北海道ボールパークFビレッジがオープンし、エスコンフィールド(スタジアム)を中心として、商業施設・宿泊施設など様々な機能が集まったまちづくりにより、多くの来場者で賑わい、まちが大きく変化しています。

今回、この北海道ボールパークFビレッジを運営する(株)ファイターズ スポーツ&エンターテインメント常務取締役の前沢氏を招き、「ファイターズが寄与する街づくり」について、ご講演いただきます。

開催日

令和6年11月15日(金) 午後6時30分～

会場

しずぎんホール ユーフォニア

静岡市葵区追手町1-13 アグラ静岡8階(静岡銀行呉服町支店ビル)
※ご来場の際は、公共交通機関のご利用をお願いします。

申込

定員:400名(先着順:事前申込、参加無料)

受付期間:10月25日(金)～11月13日(水)

(下記URLまたは右のQRコードからお申し込みください)

URL: <https://logoform.jp/form/79j2/779009>



内容

1.講演 ((株)ファイターズ スポーツ&エンターテインメント常務取締役 前沢賢氏)
ファイターズが寄与する街づくり ～非連続の成長に向かって～

2.説明(静岡市)

東静岡のまちづくりと静岡市アリーナ基本計画(案)

3.質疑応答

講師紹介 前沢 賢 氏

- ・東京都出身、中央大学大学院戦略経営研究科卒業
- ・(株)北海道日本ハムファイターズ 事業推進部長
- ・(株)横浜DeNAベイスターズ 取締役事業本部長
- ・一般社団法人日本野球機構 侍ジャパン事業戦略担当などで事業の戦略立案や立ち上げを担当
- ・現在、(株)北海道日本ハムファイターズの取締役および
(株)ファイターズ スポーツ&エンターテインメント常務取締役 事業統轄本部長
(株)エスコンスポーツ&エンターテインメント専務取締役を兼務



(北海道北広島市ボールパーク特設サイトより)



【事例紹介】

北海道ボールパークFビレッジ…

スタジアム(エスコンフィールド)を中心に、観る/食べる/遊ぶ/体験する/ショッピング/泊まるが集めた北海道の新たなシンボルとなるボールパーク。

スタジアムも含めて365日営業しており、プロ野球の興行がない日にも平日5,000人、休日10,000人が来場している。

問合せ先 静岡市役所スポーツ振興課 (連絡先)054-221-1183